



ハニカム構造・断熱ブラインド

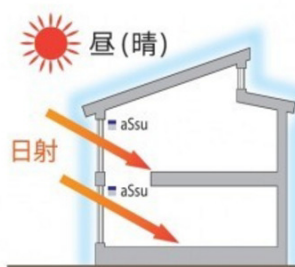
《 a S s u ・ 明日 》

a S s u

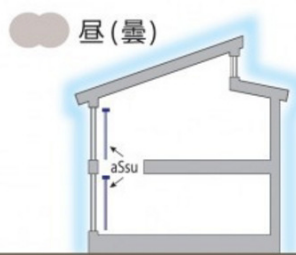
a : 暖かい+暑くならない
(快適性の向上)

S : スマートな使い方
(省エネがさらに向上)

s u : スッキリした意匠性
(デザイン性の向上)



日射があるときは、aSsuを開けて太陽の熱を室内に取り込み、室温の上昇を計画しましょう。



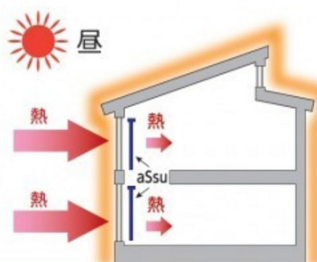
屋外の方が低温の場合は、aSsuを閉めて窓の断熱性能を高め、室温の低下を抑制しましょう。



aSsuを閉めて窓の断熱を高め、窓の冷輻射を抑制し室内の快適性を高めましょう。

冬

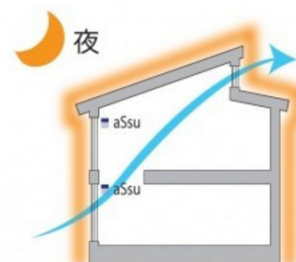
夏



aSsuを閉めて暑さの侵入抑制と日射の遮蔽を行います。白系の配色を選択いただくと室内の明るさが確保できます。



aSsuを閉めて冷房の効率を上げ、室内の快適性を高めましょう。窓の輻射が止まりますので、冷房の設定温度は高めどうぞ。



aSsuを開けて、通風を行ってください。風が通ることによって明け方になるにつれて室温が更に低下します。



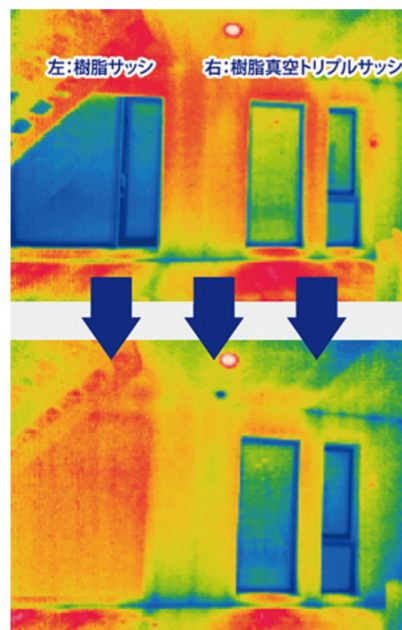
サーモビジョン(熱カメラ)で a S s uの開閉を確認 ～冬期間の場合～

右写真は、高性能サッシ+a S s uを導入した
実例です。高性能サッシでさえ表面温度は15度
a S s uを閉じた状態の表面温度は23度に上昇
しています。

また、a S s uの表面温度より壁の構造材の方が
冷たくなっているのが分かります。

a S s uを導入することで、窓からの熱の出入り
が無くなり、快適な住まい環境を作れます。

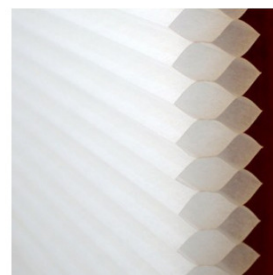
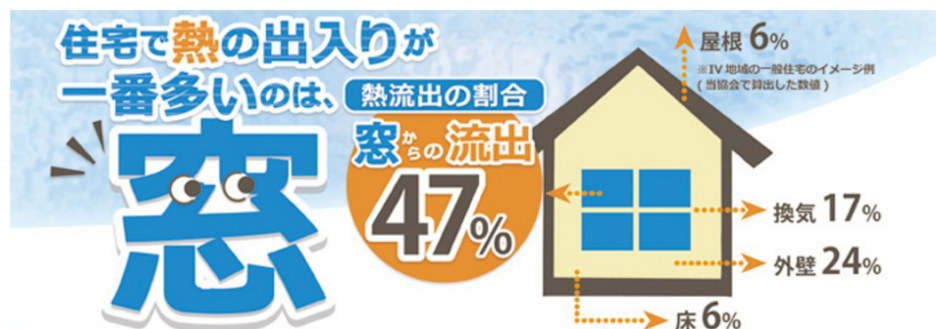
※左側の樹脂サッシに断熱ブラインドを設置しています



エコな暮らしは窓辺から 窓が熱の出入り口に...

住宅で一番熱の出入りが多いのが『窓』。住宅の断熱性能を高めるためには、
窓の断熱対策がかかせません。

窓の断熱性能を高めるには、高性能の窓を採用する・内窓のを入れるなどの
方法がありますが、もっと手軽に低コストで効果的な方法として、窓の断熱材
『a S s u』があります。





スッキリした意匠性

～デザイン性の向上～

カーテンに比べてスッキリした意匠性

現代の空間デザインは、木造の場合柱や梁を露出させたり、木や漆喰などの素材化を押し出すデザインが多くなっています。カーテンの様に自身に存在感のある窓の付属物ではなく、薄く、窓と一体になり、他を引き立てる付属物が望まれています。

また、リビングなどには採光タイプ、寝室などには遮光タイプがオススメです。



お手入れ方法

【ブラシでのお手入れ】

※採光生地・遮光生地



ブラインドの折り目に沿い、ゴミを払うようにお手入れして下さい
※強くブラシで払うとブラインドの生地が破れる恐れがあります。

【掃除機でのお手入れ】

※遮光生地のみ



掃除機用のブラシを使い、ブラインドの折り目にそってゴミを吸引してください。掃除機は一番弱いモードでご使用ください。

【中性洗剤でのお手入れ】

※採光生地のみ



少量の中性洗剤を混ぜた温水の水溶液に雑巾を浸し、固く絞ってからブラインドの折り目にそって軽く拭いて下さい。
生地を乾かす際は、ブラインドをしっかりと折り畳んだ状態で乾かして下さい。

販売価格について

デジタルカタログ内の【ハニカム a A s s 定価表】を参考にして下さい。
詳細の販売価格はお問合せ下さい。